

第2次鳥取県中部定住自立圏共生ビジョン

第1次共生ビジョンからの変更ポイント

第1章 はじめに

ビジョンの期間を平成22年度から平成26年度だったものを、平成27年度から平成31年度までの5年間とした。(2頁)

第2章 圏域の概況

人口・世帯

- 人口、世帯情報、昼夜間人口比率、通勤・通学の状況に最新の国勢調査の結果として平成22年度の情報を加えた。(4～10頁)
- 人口動態について、21年度までのものを25年度までの資料に改め、新たに中部圏域からの人口流出状況に関する資料を加えた。(6～7頁)
- ※ **中部圏域の自然増減は、少子・高齢社会を反映し、年々減少の幅は大きくなってきているが、社会増減については、減少の幅が年々と小さくなっている。これは、経済情勢などの様々な要因による結果であるが、定住自立圏の人口のダム効果が一定の効力を発揮したこともその要因のひとつではないかと考える。**
- 将来人口推計に関し、平成52年までのものに平成57年までの推計を加えた。(9頁)

医療

中部の入院患者の約85%が中部の医療機関に入院していることから、当該圏域でおおむね医療が成り立っているなどのくだりを加えるなど、文言の修正を行った。(11頁)

福祉

高齢者福祉

高齢者福祉について、高齢化率と要介護認定の割合を平成26年3月の情報に改めるなど、文言の修正を行った。(11頁)

子育て支援

病児・病後児・休日保育の広域対応の件を加えるなど、文言の修正を行った。(11頁)

教育

教育機関の施設数の修正を行った。(12頁)

産業振興

観光

主要観光地の入込客数に関し、平成17年から21年にかけて減少傾向であった分析を、平成22年から25年までの数値に改め、若干の増加傾向がみられる分析に修正した。(12頁)

産業構造

- 産業に関する情報を、平成17年のものから22年の国勢調査に基づく情報に改めた。(12頁)
- 農業に関する情報を、平成12年から17年にかけての情報から、農林業センサスをもとに平成17年から22年の情報に改めた。(12頁)

地域公共交通・道路ネットワーク

- 圏域内の路線バス等の運航便数を平成26年度のものに改めた。(13頁)
- バス路線の見直しにともない、路線図のうち日の丸バス栄線の経路を修正した。(13頁)

地産地消

直売所の販売額等について、平成23年から平成25年までの実績を加えた。(14頁)

移住・交流

最新の国勢調査の情報を加えるなど、文言の修正を行った。(15頁)

人材

ボランティア団体・NPO法人数などを平成25年の情報に改めるなど、文言の修正を行った。(15頁)

第3章 圏域の課題と可能性

圏域の課題

暮らしを支える生活分野に関連する課題

若年の妊娠人口の件数が全国平均を上回る状況にあることから、思春期保健対策の推進が求められているというくだりを加えた。(16頁)

第5章 定住自立圏形成協定に基づく具体的な取組

- 「医療」の中に思春期保健対策の推進として「思春期と心と身体 of 健康教育事業」を加えた。(24頁)
- 「産業振興」の広域観光体制の充実及び強化による広域観光の推進について、八橋往来周辺の魅力創造・発信事業を、企業誘致の推進の中に鳥取県中部定住自立圏雇用創出奨励事業を加えた。(24頁)
- 「人材の育成・確保」の中の合同研修会の開催について定住自立圏合同勉強会及び地方創生戦略勉強会を加えた。(24頁)
- 平成27年度から平成31年度までの概算事業費を加えた。(25～64頁)
- 取組の成果の項目に目標値を加えることとした。(25～64頁)

生活機能の強化

医療

- 三朝温泉病院耐震化整備事業を事業完了にともない削除した。(25頁)
- 思春期保健対策の推進に係る項目と、思春期の心と身体 of 健康教育事業を加えた。(28～29頁)

教育

- 事業完了に伴い、中部子ども支援センター移転事業を削除した。（38頁）
- 事業完了に伴い、市営陸上競技場整備事業の項目を削除した。（41頁）

産業振興

- 広域観光体制の充実及び強化による広域観光の推進について、八橋往来周辺の魅力創造・発信事業を加えた。（45頁）
- 企業誘致の推進について、鳥取県中部定住自立圏雇用創出奨励事業を加えた。（48頁）

結びつきやネットワークの強化

地産地消の推進

- 成果指標に中部発！食のみやこフェスティバルの実施成果を加えた。（55頁）
- 地産地消拡大事業の中に、中部発！食のみやこフェスティバルを加え、運営費用の一部を1市4町で負担することを明記した。（57頁）

圏域マネジメント能力の強化

- 子どもの発達支援に関わる研修講師の活用事業を子育てに関わる職員等に対する合同研修会の開催事業に併合したため、項目を削除した。（64頁）
- 定住自立圏構想合同勉強会の開催事業を加えた。（65頁）
- 地方創生戦略勉強会の開催事業を加えた。（65頁）

第6章 今後の検討課題（67～72頁）

新たに加えた検討課題としての取り組み

- 鳥取看護大学との連携
- ウォーキングリゾートの推進
- 修学旅行の誘致
- 中心市街地活性化の推進
- 未婚晩婚化の解消への取り組みの推進
- メール配信サービスの共同利用

今後の検討課題から除いた取組み

- その他の体育施設の整備・改修による機能の維持（70頁）
※ 大栄中学校の50mプールの改修が目的であったが、平成26年度に北栄町単独で25mプールへの改修を実施したため、検討課題から除いたもの。

その他の修正

「1.人材の育成・確保」と「m.外部からの人材の確保」の項目は、取り組みの内容が重複していることから、1の項目に併合した。